

タルセバ®+アバスチン®

◆ 点滴に使用する薬と点滴時間

- 点滴時間：30分

使用する薬	外観	点滴時間
アバスチン® 15mg/kg		30分

- 薬の量は、副作用の程度などにより変更されることがあります。
- 点滴時間はあくまで目安であり、時間が前後することがあります。

◆ 内服薬

お薬の名前	飲み方、スケジュール
タルセバ®錠 150mg 	1回 150mg 1日1回 空腹時 連日内服
100mg 	
25mg 	

◆ スケジュール

- 21日間を1コースとして治療を繰り返します。

アバスチン®：1日目に点滴

タルセバ® 連日内服

1コース：21日間

◆ タルセバ®を飲むときの注意

- この薬は、患者さんの疾患、体の大きさによって投与量が決められています。処方された**用法用量、スケジュールを必ず守ってください**。
- 食後に飲むと、薬の効果が強く出てしまうため、**空腹時（食事の1時間以上前又は食後2時間以降）**に飲んでください。

◆ タルセバ®を飲み忘れたとき

- 当日飲み忘れに気が付いた場合は、同じ日の空腹時にすみやかに内服してください。
- ただし、次の内服時間が近い場合はその日は内服せず、翌日から通常通り内服し、決して2回分を飲まないでください。

◆ タルセバ®を過剰に飲んでしまったとき、間違えたとき

- 多く飲んでしまった、スケジュールを間違えた場合などは、すぐに病院へご連絡ください。

◆ タルセバ®の飲み合わせについて

- タルセバ®は、**併用に注意が必要な薬や飲食物があります**。薬局やドラッグストアで購入した薬も含め、担当の医師や薬剤師に飲み合わせを確認してもらいましょう。

◆ 喫煙について

- 喫煙は、タルセバ®の効果を弱めるおそれがあるため、**禁煙**してください。

◆ 治療日誌について

- 副作用の症状を把握したり飲み忘れがないように、治療日誌をつけましょう。

◆ 薬の名前について

- このパンフレットには、当院で使用しているお薬の名前が書かれています。調剤薬局で受け取ったお薬の名前と異なる場合があるため、お薬の名前を薬局でご確認ください。

◆ 主な副作用

皮膚障害

タルセバ®により、にきびのような発疹、かゆみ、乾燥、爪の周りの炎症などの皮膚障害が現れることがあります。

副作用の詳細や、対策方法、生活上の注意点については、別冊のパンフレットをご参照ください。

◆ 点滴中

下記の赤字の症状があるときは、すぐに医療スタッフへお声かけください。

過敏反応（アレルギー）

寒気、吐き気、頭痛、めまい、発疹、息苦しい

治療開始1～2回目ができやすいですが、治療を繰り返していても現れることがあります。

血管外漏出

点滴が漏れている、針を刺したところが痛い、熱っぽい、赤く腫れている、違和感がある

◆ 点滴終了後～1週間頃

発疹

皮膚が赤くなる、かゆみが出ることがあります。

刺激の少ない肌着を着用しましょう。塗り薬やかゆみ止めの内服薬を使用することがあります。

治療開始後数日以内に全身に発疹やかゆみが出る、目の粘膜や唇がただれる、発熱を伴う場合などはすぐに病院へ連絡してください。

倦怠感（だるさ）

疲れやすい、気力がない、体が重いなどの症状で、日常生活に支障が出る場合は、診察時に主治医へご相談ください。

◆ 1～2週間頃

下痢

普段より1日4回以上多く排便がある、または1回でも水のような便があるときは、下痢止めを使用することがあります。

強い腹痛や発熱を伴う場合、医師から処方された下痢止めで改善しない場合は、ご連絡ください。

口内炎

口の中がヒリヒリする、しみる、痛くなることがあります。

歯みがきやうがいなどで口の中を清潔に保ち、乾燥を防ぐことが大切です。またうがい薬や塗り薬を使用することがあります。

がまんできない、水分もとれないほどの口の中の痛みがある場合は、病院へご連絡ください。

◆ 2～3週間頃

脱毛

薬の種類によって抜けやすさは異なりますが、1～2か月後にはかなり目立つようになります。

髪の毛以外（まゆ毛、まつ毛など）全身の体毛も同様に抜けます。治療が終了すると、少しずつですが生えてきます。

◆ 蓄積性の副作用

色素沈着

皮膚に日焼けのようなしみができる、爪が黒ずむ

味覚障害

味を感じにくくなる、塩味を強く感じる、金属味がする、まずく感じるなど味覚に異常が出る場合があります。

視覚障害

視力が落ちる、かすみ目、ものがゆがんで見える

◆ 検査でわかる副作用

高血圧

血圧が高くなることがあるため、自宅で定期的に血圧を測定し記録し、診察時に医師に記録を見せましょう。

血圧を下げる薬を使用することがあります。

自宅での血圧が180/120mmHgを超える、頭痛や胸の痛みなどの他の症状を伴うときは、病院へご連絡ください。

タンパク尿

尿にタンパクが出ることもあるため、定期的な尿検査を行います。

【血液検査・尿検査について】

副作用の確認のために、定期的な検査を行います。

◆ その他の副作用

非常にまれな副作用ですが、万が一赤字の症状がある場合は、すぐに病院へご連絡ください。

間質性肺炎

たんが絡まない乾いた咳、息苦しい、発熱

肝機能障害

定期的な血液検査を行います。

白目や皮膚が黄色くなる（黄疸）、ひどいだるさ

血栓塞栓症（血のかたまりが脳、心臓、肺などの血管につまる）

手足に力が入らない、ろれつが回らない、めまい、しめつ

けられるような胸痛、息苦しい、片方の足に急激な痛みや腫れがある

出血

青あざができる、鼻血、歯茎から出血しやすいなどの症状が出ることがあります。

血痰がある、下血がある場合は病院へ連絡してください。

消化管穿孔

今までに経験のないひどい腹痛

◆ 緊急時の連絡方法

困ったことがあったときは、下記にご連絡ください。

気持ち悪くて水分も摂れない
下痢が止まらない
37.5℃以上の発熱が続いている
薬の使用方法がわからない

など



診察券を用意する

代表：044-977-8111 に電話をかける

平日：8:30-17:00
土曜日：8:30-12:30

腫瘍センター
ナースステーション

夜間帯・休診日
など左記以外の時間

各診療科の当直医

◆ 予約外受診の方法

病院本館正面玄関に入って右手の
「②再診受付」または「予約外受付機」で手続きした後、
各診療科の外来でお待ちください。

※受付時間：平日8:30-11:30 土曜日8:30-11:00

- 生活上の注意については、別冊のパンフレットもご参照ください。
- ご不明な点がある場合は、遠慮なく医療スタッフにお尋ねください。

薬剤師